

第2回 西成特区構想エリアマネジメント協議会
就労・福祉・健康専門部会 議事要旨

1 日 時 平成30年7月26日(木) 午後7時から午後9時まで

2 場 所 西成区役所4階 4-8会議室

3 出席者

(有識者)

白波瀬桃山学院大学准教授、福原大阪市立大学教授、織田釜ヶ崎のまち再生フォーラム代表理事、ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

(行政関係者)

西成区

上堀内保健福祉課長、加畑生活援助担当課長、中島分館担当課長
福祉局

北口自立支援課長、依田自立支援課長代理 他1名

大阪府

中村商工労働部労政課課長補佐、岡本商工労働部労政課課長補佐
事務局(西成区)

安間事業調整担当課長、室田事業調整担当課長代理 他1名

(地域メンバー)

松繁釜ヶ崎資料センター、山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長、山田NPO法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事、荘保わが町にしなり子育てネット代表、森下釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表、本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表、泊全日本港湾労働組合関西地方建設支部西成分会分会長、松井公益財団法人西成労働福祉センター総務課長、水野日本寄せ場学会運営委員、木田社会福祉法人大阪自彊館事務局長、澤村西成市民館主任

4 議 題

- (1) 前回の振り返り
- (2) 生活困窮者の居場所の創出について

5 議事要旨

- (1) 報告された事項及び合意に至った事項は、別紙まとめのとおり。
- (2) その他の主な意見は次のとおりである。
 - ・地域に居場所資源はたくさんあるが、一方で人口密度が高く需要が非常に大きい。
 - ・シェルターの常時利用が進めば、利用者の固定化や民業圧迫という課題に直面する。
 - ・まずは「野宿をしないで良いまち」をつくるのが大事であり、居場所の議論は野宿生活者を含む困窮者への支援の議論を一定進めてからが良いのではないかと。

6 会議資料

- (1) 会議次第
- (2) エリマネ就労福祉健康専門部会 テーマ2 レジюме
- (3) 労働福祉センター巡回相談記録
- (4) 居場所を有する施設等 位置図
- (5) 各施設等の概要